

茨城県立美浦養護学校 (学校長 平野 信亮)

実施日	平成20年2月15日(金)	時間	午前10時～午後1時
実施場所	中学部教室3年2組	対象/人数	中学部3年生6名
担当教諭	石井不二子	ファシリテーター	坂本 幸子
講師	ポタ シリポーン(タイ) シリサワット スパティダ(タイ)		

活動内容

タイ語で自己紹介
民族舞踊鑑賞・体験、民族衣装試着体験・記念撮影
タイ語でお礼とプレゼント贈呈

児童の感想

- ・タイの言葉で挨拶したり、自己紹介や質問をしたりしたとき、お二人に分かっていただき「上手だね。」とほめてくれたのでとてもうれしかったです。
- ・タイの踊りを見せてもらったときはとてもきれいだったので驚きました。タイの踊りを教えてくれて一緒に踊ったのはとても楽しかったです。
- ・タイの衣装を初めて着ました。恥ずかしかったけどうれしかったです。また来てほしいです。

先生の感想

・今年度タイの方との交流をした。「日本語が話せません」とのことでしたが、あいさつと簡単な自己紹介、相手の方への質問はタイ語で行いたいと思い、生徒に話したところ「頑張る」とのことであった。その言葉どおり事前の学習では、手作りのタイ語のテキストを使っての学習に力を入れてくれた。交流当日生徒たちは「ときどきする」と言いながらも自己紹介と自分の好きなことや相手の方への質問を覚えたてのタイ語を使って話すことができた。たどたどしいタイ語で話す生徒一人一人に笑顔で答えてくれたり、発音をほめたりしてくれた。生徒のことばに身を乗り出すようにして聞いてくれた姿がとてもやさしい人柄が出ていた。お二人の態度に生徒は喜びと同時に自信も持ったようであった。また民族舞踊を見せてもらったり一緒に踊ったりできたことが嬉しかったのか、自分からかわりをもとうとする姿が見られた。とても楽しく過ごすことができ、時間が短く感じられた。

成果と課題

・ポタさんとシリサワットさんはとても気さくで優しい笑顔で教室に入ってきてくれたのでそれまで緊張していた生徒の顔が少し緩んだ気がした。

大きな声でタイ語でのあいさつをすることができ二人の方に喜んでいただき、事前学習で一生懸命覚えた自分の名前をタイ語で言うことができ、とてもほっとしていた。生徒が自己紹介するたびに笑顔でうなずき、ほめてくれたことでとてもリラックスしてできたと思う。(慣れないことにはとても緊張し、実力が出せないことが多いので)タイ語は普段耳にしていなかったため覚えるのにとても苦労していた。相手に通じたことがとても嬉しかったのか「ガッツポーズ」をする生徒もいた。アジアの文化や料理を知ること、生徒も教師もとてもタイを身近に感じることもできた。これも二人の方が素晴らしい民族舞踊を見せてくれたことと優しく接してくれたことが生徒に強く印象つけてくれたことと感謝したい。とてもよい交流になった。

・このような機会が年に数回定期的に行えることと語学に対する興味関心も深まるのではないかと考える。やはり単発ではせっかく苦労して覚えたこともすぐに忘れられてしまうことが残念である。外国の方と直接に交流できる場の設定が今後の課題となると考える。